

8 巻頭言  
江戸時代における国際化  
田中優子 法政大学総長

10 巻頭論文  
台頭する中国に求められる  
「忍耐と慎重さ」  
マーティン・ジェイクス 英ラムナムスト

# 宣伝 諜報 情報戦の裏側

- 16 総論 国際情報戦をどう生き抜くか
- 22 フランス流「影響力外交」  
ミシエル・ブーシエ フランス国立高等師範学校教授
- 26 国際情報戦の内幕  
「銃弾以上」の威力を持つPRR会社の参戦  
高木徹 NHKチーフプロデューサー
- 33 宣伝体制から  
脱皮できない中国  
西茹 北海道大学准教授
- 40 中国の情報戦  
一軍による「三戦」の実態と特性  
茅原郁生 拓殖大学名誉教授

## 特集

- 44 世界最大の「情報組織」  
バチカンが使い分ける  
「聖」と「俗」  
秦野るり子 読売新聞調査研究本部主任研究員
- 48 諜報組織と外交活動  
春名幹男 早稲田大学客員教授
- 53 日本インテリジェンス事情  
小谷賢 防衛研究所主任研究員
- 58 パブリック・ディプロマシーの盲点  
金子将史 PHP総研 国際戦略研究センター長・主席研究員
- 64 日韓改善「静かな多数派」を  
手がかりに  
工藤泰志 言論NPO代表
- 67 言葉の魔力で聴衆を奈落に  
誘った男  
関口宏道 松蔭大学教授
- 148 古典読みかえし  
『井上成美』阿川弘之 著  
与謝野馨 元財務大臣
- 『想像の共同体』ベネディクト・アンダーソン 著  
遠藤 乾 北海道大学教授

## 特別企画

# 持久戦と一瞬のリスク

- 76 東シナ海に常在する「一瞬のリスク」  
鈴木美勝 時事通信解説委員
- 78 海洋戦略「A2/AD」  
中国の作戦能力と狙い  
トシ・ヨシハラ 米海軍大学教授
- 82 解題 宇宙・サイバー空間と  
一体化する中国の海洋戦略に  
どう対応するか  
塚本勝也 防衛研究所主任研究員
- 88 東シナ海上空を警戒せよ  
突発的衝突の危機と緩衝  
永岩俊道 双日総合研究所上席客員研究員 元航空自衛隊空将

## 一点視界

- 94 ライフワーク  
「集团的自衛権」——私の立場  
「時代が必要とした時の準備はする」  
石破 茂 自民党前幹事長  
地方創生担当 内閣府特命担当大臣(国家戦略特別区域)

- 104 岐路に立つ中韓関係  
川島 真 東京大学准教授
- 111 冷え込む中朝関係の行方  
吉田健一 時事通信ソウル特派員
- 115 ガザ「停戦合意」の課題  
出川展恒 NHK解説委員

## 連載

- 14 Cartoon says it all  
マンガをみれば世界がわかる  
西川 恵 毎日新聞客員編集委員
- 74 アメリカ政治アネクドット  
小谷部 一郎 在米ジャーナリスト
- 126 米中関係のルーツをさぐる  
初米留學生  
容閔と米中交流の原点  
譚璐美 ノンフィクション作家
- 130 音楽と外交  
ヨハネス・ブラームス  
「勝利の歌」作品55  
小栗勘太郎 音楽愛好家
- 132 ニュース裏読み深読み  
歴史認識とは、他の手段を  
もつてする外交の連続か  
河内 孝 ジャーナリスト
- 136 映画と戦争  
イスラエルとアラブの間  
藤原帰一 東京大学教授
- 142 苦言賞賛  
安保外交に与野党共通の  
基盤築け  
清水真人 日本経済新聞編集委員
- 144 外交の「要諦」  
小倉和夫 青山学院大学特別招聘教授
- 152 書評  
Japanese  
ワシントンで展開される  
アジア諸国の外交攻防  
村田晃嗣 同志社大学学長
- 158 グラスルーツ発 外交の架け橋  
トイレルの設置から総合的な  
水環境の改善へ  
酒井彰 NPO法人 日本下水文化研究会代表

## 提言

- 119 新ODA大綱の作成に向けて  
松浦晃一郎 ユネスコ前事務局長
- 70 追悼  
「誠実な人」  
——ベーカー元駐日米国大使を悼む  
福田康夫 元内閣総理大臣